

(仮称)健康増進ポイントアプリ構築 ～ 「新しい生活様式」における「健康」応援都市の実現 ～

6号補正

1 実施の経緯

- (1) 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う外出自粛等により、生活習慣の変化が生じる中、市民皆様の健康上のリスク及び不安が増大しております。
- (2) 第2次西東京市健康づくり推進プラン後期計画では、総合目標として「健康寿命の延伸」及び「主観的健康観の向上」が位置付けられており、市民お一人おひとりの運動習慣等への取組が重要とされております。
- (3) このことを踏まえ、「新しい生活様式」における「健康」応援都市の実現を目指し、「歩く」ことを中心に、日常の中で健康づくりを実践する機会を提供し、市民皆様の取り組みに対してインセンティブを付与する仕組みを構築します。

2 事業の概要

- (1) 歩数計機能を主としたスマートフォンアプリの構築及び運用
- (2) スマートフォンアプリへの登録及びポイント集計
- (3) インセンティブへの応募受付及び提供
- (4) 市民の健康づくりに向けた取組の提案に係る情報発信（伴走型）
- (5) 新たな健康施策に関する統計情報等の収集及び分析



3 実施場所

市域を含めた市民の生活圏全体

4 対象者（メインターゲット）

推進プラン後期計画において、「働き盛り・子育て世代」を全世代の中で特に重要なターゲット世代として位置付けていることから、本事業のメインターゲットは、20～50代の市民とします。

5 実施の時期

令和2年度中で調整中

6 予算額

9,857 千円



【問い合わせ先】 健康福祉部 健康課（TEL：042-438-4021）



資料のポイント

1 本市の現状（西東京市健康づくり推進プラン後期計画より）

- (1) 働きざかり・子育て世代が人口：約4割を占める。
- (2) 1日に歩く時間：60分未満の人が5割を超える。
（全国平均 男：82分 女：73分）
- (3) 週1日以上スポーツをする人の割合:全国と比較して少ない。
（全国：51.5%⇒西東京市：38.5%）
- (4) 男性の肥満:20歳代から2割を超え、50歳代では3人に1人が肥満。
メタボ率も年々上昇している。
- (5) 骨粗しょう症の原因である運動不足・やせの20代女性:全国と比較して多い。

2 スマートフォンアプリの利用環境のない市民への対応

連動して行う既存の「健康チャレンジ事業」の中で、健康づくりを促し、別途インセンティブ事業を展開する。